

令和4年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和5年3月23日

管内幼稚園
園長 阿野 圭太郎

1. 本園の教育目標

- ・自分で考え、行動する子ども
- ・おもしろいものをもった子ども
- ・あいさつができる子ども
- ・仲良く遊べる子ども

2. 本年度重点的に取り組む目標

「あそびからまなびへ まなびからあそびへ」
～子どもたち一人一人の特性(そのらしさ)や発達段階および知的探求心を大切に、さらに伸ばしていく～

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	教育課程を見直し改善を図る	C	毎月の月案・週案の作成段階で熟考を重ねているが、月や週の途中での見直し改善を図ることはできなかった。
2	教育の質向上のために、園外研修に積極的に参加するとともに、園内研修の充実も図る	B	市私立幼稚園連盟・県私立幼稚園協会等主催の園外研修に加え、毎月1度すべての正職員対象の造形表現に関して外部講師を招いて園内研修を行った。
3	保育以外の業務の効率化により保育準備時間の確保を図る	C	ICT(ルクミー)を活用することにより、業務の一部が効率化され、各種教育課程を計画的・効率的に作成することができた一方で、園務分掌や各種行事の準備や当日のシフト次第で預かり保育業務もあり、十分な時間の確保ができなかった。

評価基準【A…十分達成されている(おおむね80%) B…ほぼ達成されている(60～80%) C…取り組まれているが成果が十分でない(40～60%) D…取り組みが不十分である(40%以下)】

4. 総合的な評価結果

評価	理由
C	3つの評価項目のうち、1と3が取り組みおよび成果とも十分ではなかった。その取り組みが不十分であったことが保護者アンケートで浮き彫りになったことの原因となったのではないかと考えられる。

評価基準【A…十分達成されている(おおむね80%) B…ほぼ達成されている(60～80%) C…取り組まれているが成果が十分でない(40～60%) D…取り組みが不十分である(40%以下)】

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	子ども主体の保育実践とその発信	日々の保育活動およびその延長にある各行事の主体を保育者から子どもへ転換したり、日々の保育の様子を保護者の方に見ていただく機会を新たに設ける。
2	職員の業務の負担軽減および効率化	降園後の預かり保育業務にあたる専任職員の配置および子ども主体の保育への転換。
3	給食メニューおよび牛乳の提供の再考	給食メニューについては、徳山給食センターに保護者から上がった意見を伝え、改善を促す。牛乳の提供については、回数や頻度等について再度保護者アンケートを実施する予定である。
4	ルクミーの不具合の改善	ルクミー運営会社に保護者から上がった様々な苦情・要望を伝え、改善を促す。
5	保護者(バス利用児含む)同士の交流	国のコロナ対策の方針転換を踏まえ、園庭開放の再開、行事等の保護者参加の復活(参観人数制限の見直しや参加方法の再考)や参観日の在り方等の再検討を行う予定である。
6	各クラス配置職員増員	令和5年度は令和6年度の認定こども園への移行を見据え、職員の採用拡大とそれに伴い余裕をもった職員配置を検討している。
7	教育目標・方針の不徹底	全ての職員が教育目標・方針を園内研修や日々のミーティング等で理解を深め、保護者に対しても参観日や園だより・クラスだより・ドキュメンテーション・HPやSNSを通して積極的に情報を発信していく。
8	コロナ対応	国のコロナ対策の方針転換を踏まえ、今年度園がお願いしてきた様々な感染対策を来年度に向けて見直ししていく。
9	ケガやトラブルの保護者への報告の遅延および不徹底	今後職員間で対応に差が出ない様、徹底していくとともにマニュアルの見直しを図る。

6. 学校関係者評価委員会の評価

R5.3.6実施 / 出席者:7名 アンケート回答者:7名

1. 自己評価で設定した目標・計画・評価項目の設定は適切であったか。

平均:3.2 (4:非常に良い 3:良い 2:あまり良くない 1:良くない)
 ・「あそびからまなびへ、まなびからあそびへ」という目標はとても素敵だと思う。保育の質の向上、改善に向けて様々な研修が行われているのもよわかる。ただ、人員数の問題なのか先生方にゆとりがないようにも感じる。日々業務に追われる中でどの程度この大きな目標を取り入れられるのか…人員のゆとりが欲しいですね。
 ・子どもにとって大切な目標であり、そのために必要な評価項目だと思います。取り組み状況についてはなぜ出来なかったのか、取り組んだ結果何を實際することが出来たか書いてもらえると評価しやすかったかなと思います。
 ・目標に対して評価項目、良かったと思います。1と3に関しては、先生方の業務がギリギリの状態ではなかなか達成することが難しいと思うので子どもの為にも先生方にとっての働きやすさも大切にいただけたらと思います。
 ・評価項目の3は良い目標だし、現状すごく忙しそうに見えるので、もっともっと効率化されるといいなと願っています。
 ・項目1に関して、コロナ感染や天候などやむを得ない変更もあり、月や週の途中での見直しや改善が難しい場合もあるなと思いました。
 ・研修など沢山参加していただき、今までにない体験や新しい経験をする機会を増やしてもらえて嬉しいです。

2. 評価結果の内容は適切であったか。

平均:3.1 (4:非常に良い 3:良い 2:あまり良くない 1:良くない)
 ・日々の保育プラス行事・預かりなど、幅広く業務をこなさなければいけないので、先生達が保育に専念できる環境が整うことができれば、と思いました。いつもありがとうございます。
 ・すこし厳しめの評価だなと思いました。研修もかなりされているし、コロナの流行によっても行事ができたりできなかったりで大変なのに、よくやってくれていると思います。
 ・保護者アンケートについては様々な保護者の意見があり、全ての要望に応えるのは大変だと思いますが、保護者自身が幼稚園のこと、幼稚園で過ごす子どもの事を考えるいい機会になったと思います。
 ・忙しい中、よく考えて行動してくださっていると思います。ただ、先生方がどこまでのことを目標にして達成したのかが良く分からず、評価も適切なのか決めづらいです。
 ・先生方のゆとりとつながる結果ではないかと思う。加えて、保護者と意思疎通を図る機会の少なさ、園生活の様子を見る・知る機会の少なさアンケートにも表われているようにも感じる。先生方の努力や工夫が伝わっていないのはもったいないなと思う。
 ・評価項目について幼稚園が今後もっと良くなるように、先生方がアンケートなど保護者の声を真摯に受け止め厳しめに評価をしてくださったので、これからはもっと良くなると思います。
 ・先生方も多忙な業務の中、研修に参加されており、評価Aでもいいんじゃないかと思いました。(項目2)

2. 今後取り組むべき課題は適切に設定されているか。

平均:3.4 (4:非常に良い 3:良い 2:あまり良くない 1:良くない)
 ・4月からコロナの状況も変わってくるので、もっと思うようにやりたい事もできると思います。怪我やトラブルに関してもクラスのライングループなどもあり連絡先を知っている以上、加害者側もすぐに謝れるのでなるべく対応に差がでないようにするのはすごくいいと思う。卒園しますが頑張ってください。
 ・給食やルクミーについては、センターや運営側としっかり連携・改善を図るしかないですが、他の項目については職員の意識向上だけでなく、もっと保護者を巻き込んでも良いと思うし、多角的にオープンな視点をもつとより取り組みやすくなるのではと思います！
 ・給食メニューについては、もう少し子どもの興味を引く内容などいいかと思いますが、牛乳の提供・回数についてはあと1年のことなのでこのままでいいのではないかと思います。
 ・1つ1つの課題がはっきりしていて、課題の取り組み方法もわかりやすかったです。一年で目標を達成することはとても難しいかもしれませんが、目標達成の為に1つずつ課題を解決して欲しいと思います。
 ・コロナ禍から緩和に向けてまた認定こども園へと準備もあり対応が大変だと思われませんが、子ども達が楽しく過ごせるよう保護者も協力し合えればと思います。
 ・9項目の改善は先生方に尽力していただくことになりませんが良い先生ばかりでずっと今年度よりも良い幼稚園になっていくと思うので期待しております。保護者アンケートで少し気になるものもいくつかあったのでその辺も今後評価委員だけでなく他の保護者とも話し合い改善できれば良いと思いました。